

2025年度(第16期) 事業計画

2025年4月1日～2026年3月31日

公益財団法人 日本バレーボール協会
(Japan Volleyball Association)

目 次

1. 事業方針・重点実施項目	3
(1) 事業方針	3
(2) 重点実施項目	3
2. 事業活動	4
2-1. 代表強化「世界と戦う強く、応援される代表チーム作り」	4
2-1-1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る国際大会派遣事業（バレーボール）	4
(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化および国際派遣事業（男子）	4
(2) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化および国際派遣事業（女子）	7
2-1-2. 競技力向上事業及び競技力向上に係る国際大会派遣事業（ビーチバレーボール）	9
2-1-3. 国際大会開催事業	10
(1) バレーボールネーションズリーグ 2025 女子大会	10
(2) バレーボールネーションズリーグ 2025 男子大会	10
(3) 2025 バレーボール男子世界選手権壮行試合 日本対ブルガリア	10
(4) 2025 バレーボール男子世界選手権壮行試合 日本対イタリア	10
2-1-4. 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査 研究事業	10
(1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案とサポート	10
(2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握	10
(3) トレーナーおよびアナリストの育成と教育及び日本代表チームへの帯同と日本代表チーム が利用する機材およびデータの管理・運用	10
(4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我 防止及び傷害発生時の対処、薬剤の手配	10
(5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上を図る	10
(6) 感染症専門ドクターの示唆、感染症対策の実施と安心・安全なトレーニング環境を創る	10
2-1-5. 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業	10
(1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業	11
2-1-6. 競技・練習環境の整備、情報発信	12
(1) 味の素ナショナルトレーニングセンター バレーボール専用コート設備	12
(2) 川崎マリエンビーチバレーボールコート設備	12
(3) ビーチバレーボールアスナビ	12
2-2. 競技普及「競技に携わる多くの仲間とのつながり拡大」	12
2-2-1. 競技人口拡大のための重点施策	12
(1) 競技会開催事業	12
(2) 指導者養成事業	16
(3) 審判員養成事業	17
(4) 競技者拡大事業	18

(5) 医事関連事業	20
2-3. マーケティング「ファンや企業の皆様へ向けた新たな価値の発掘・提供」	20
2-3-1. 新たな価値を創造するための重点施策	20
(1) 代表ユニフォームや大会看板以外の商材開発	20
(2) 新しい競技イメージの構築	20
(3) マーケティング機会の創出	20
(4) ファンマーケティングの拡大	20
2-4. 社会貢献「豊かな社会の実現に向けた貢献活動」	21
2-4-1. 豊かな社会の実現に貢献するための重点事業	21
(1) SDGs 関連事業（国連グローバル・コンパクト関連事業）	21
(2) アジア貢献、国際交流事業	21
(3) 災害復興支援事業	21
(4) 環境保護活動	21
2-5. 組織運営「組織改革による、誠実で信頼される組織運営と全国ネットワークの連携強化」	21
2-5-1. 成長の推進力となる組織運営の実現に向けた重点事業	21
(1) ガバナンス関連事業	21
(2) 人財開発関連事業	21
(3) マネージメント関連事業	21

1. 事業方針・重点実施項目

公益財団法人日本バレーボール協会(以下 JVA)は、2024 年に策定した中長期計画 2028 の目標項目の実行に向けて、バレーボール界全体が一つになり確実に各種事業を推進していきます。

また、スポーツやバレーボールを取り巻く環境や社会の変化に柔軟に対応するために、新たな代表強化戦略と組織構造の根幹であるガバナンス・コンプライアンスの強化を推進します。そして、最重要課題である登録制度、競技者人口拡大、加盟団体の法人化推進を着実に推し進め、誠実で信頼される組織運営と全国ネットワークの連携強化に努めます。

(1) 事業方針

- 1) 代表強化：更なる飛躍を目指し、世界と戦う強く、応援される代表チームを作り上げる。
- 2) 競技普及：子供から高齢者まで誰もがバレーボールの「する」「見る」「支える」ことができる多様な機会とニーズに合わせた選択肢を持続的に届けられる環境をつくる。
- 3) マーケティング：ファンや企業の皆さまへ向けた新たな価値を創造・活用し、収益向上を図る。
- 4) 社会貢献：我々が目指すバレーボールらしさを生かした活動により、社会貢献を推進する。
- 5) 組織改革：誠実で信頼される組織運営の実行と、相互理解をベースとした加盟団体との強固なネットワークを構築し、さらに加盟団体の法人化を推進することで、バレーボール界の更なる発展に向けた礎を作る。

(2) 重点実施項目

- 1) -1 4年後の2028年ロサンゼルスオリンピックに向けて、バレーボール・ビーチバレーボールともに世界レベルでの情報収集と分析を行い、一貫性と継続性を兼ね備えた強化戦略を策定し、データを活用して科学的見地に立った代表強化をスタートさせる。新たに発足したSVリーグも代表強化には欠かせない要素であり、積極的な連携を図る。
- 1) -2 代表選手がやりがいと誇りをもってトレーニングに勤しみ、最高のパフォーマンスを発揮できる環境を提供する。
- 1) -3 ファンや社会との積極的な交流を通じて日本や世界から高い関心を集め、代表チームが応援される機運を醸成する。
- 2) 競技人口拡大のために、競技スポーツ・生涯スポーツ双方の面から愛好者を含む競技者のニーズに合う活動環境を整備する。また、各種大会への参加や情報提供を確実に届けるために、登録制度の改定や登録システムの改修を行う。
- 3) -1 代表ユニフォームや大会看板以外の商材開発
- 3) -2 新しい競技イメージの構築
- 3) -3 マーケティング機会の創出
- 3) -4 ファンマーケティングの拡大

- 4) 「つなぐ力」が生み出す価値を社会貢献に関する具体的なアクションに結び付け、インドア・ビーチ及び各事業において実践する。
- 5) -1 多くのステークホルダーから信頼感と期待感を寄せられる透明で誠実な組織運営を自らが実践し、加盟団体にも波及させていくことで競技発展に資する組織体制を整える。
- 5) -2 都道府県バレーボール協会の法人化に向けた説明会を継続的に開催し、支援策等の合意形成を図りながら法人化を推進する。

2. 事業活動

2-1. 代表強化「世界と戦う強く、応援される代表チーム作り」

2-1-1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る国際大会派遣事業（バレーボール）

(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化および国際派遣事業（男子）

A：日本代表（フル代表）

2025年度より、2028ロサンゼルスオリンピックに向けた4年間がスタートする。

2024-25 大同生命 SV. LEAGUE が5月第1週まで行われるため、第2週より新監督・新スタッフのもと日本代表活動を始動する。4月は国内で若手有望選手の育成を行い、5月から選考を含む強化合宿を実施、6～7月のバレーボールネーションズリーグ（VNL）に向けて新チームを作り上げていく。VNLでは2024年（銀）に続くメダル獲得を目指す。

事業名(期間)	場所
バレーボールネーションズリーグ男子第1週(6/11-6/15)	中国（西安）
バレーボールネーションズリーグ男子第2週(6/25-6/29)	ブルガリア（ブルガス）
バレーボールネーションズリーグ男子第3週(7/16-7/20)	日本（千葉県千葉市）
バレーボールネーションズリーグ男子ファイナルラウンド(7/30-8/3)	中国（寧波）

9月は国内で強化合宿・親善試合（イタリア、ブルガリア）を行い、世界選手権に向けて、VNLで出た課題の修正に取り組む。世界選手権では前回2022年のベスト16以上を目指しメダル獲得を目標とする。

事業名(期間)	場所
男子世界選手権（9/12-9/29）	フィリピン

国内合宿

B代表の合宿も並行して実施し、冬には若手有望選手を中心とした強化合宿を実施する。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
250427 男子 JPN 合宿 (NTC) (4/28-5/9)	NTC	11泊	12日	10名	16名

250512 男子 JPN 合宿 (NTC) (5/12-6/7)	NTC	27 泊	28 日	10 名	16 名
250616 男子 JPN 合宿 (NTC) (6/16-6/18)	NTC	3 泊	4 日	10 名	14 名
250704 男子 JPN 合宿 (沖縄) (7/4-7/11)	沖縄	9 泊	10 日	10 名	14 名
250720 男子 JPN 合宿 (NTC) (7/20-7/26)	NTC	6 泊	7 日	10 名	14 名
250811 男子 JPN 合宿 (国内) (8/11-8/22)	国内	12 泊	13 日	10 名	14 名
250823 男子 JPN 合宿 (NTC) (8/25-9/8)	NTC	15 泊	16 日	10 名	14 名
251214 男子 JPN 若手有望選手強化合宿 (NTC) (12/15-12/19)	NTC	4 泊	5 日	10 名	20 名
260220 男子 JPN 若手有望選手強化合宿 (海外) (2/20-3/2)	NTC	10 泊	11 日	10 名	14 名
250604 男子 JPNB 合宿 (NTC) (6/4-6/23)	海外	15 泊	16 日	6 名	14 名
250701 男子 JPNB 合宿 (NTC) (7/1-7/13)	国内	14 泊	15 日	6 名	14 名
250714 男子 JPNB 合宿 (海外) (7/14-7/25)	海外	13 泊	14 日	6 名	14 名
250801 男子 JPNB 合宿 (国内) (8/1-8/5)	国内	11 泊	12 日	6 名	14 名
250806 男子 JPNB 合宿 (海外) (8/6-8/22)	NTC	5 泊	6 日	6 名	14 名
250826 男子 JPNB 合宿 (国内) (8/26-9/8)	NTC	16 泊	17 日	6 日	14 日

B: ユニバ日本代表

7月にドイツで行われるワールドユニバーシティゲームズ (WUCG) に向けて選手強化を図る。WUCG ではメダル獲得を目指す。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子ユニバ日本代表 合宿 (6/6-6/10)	国内	4 泊	5 日	8 名	20 名
男子 WUG (ドイツ) (7/13-7/27[試合:7/16-7/24])※事前合宿あり	ドイツ	14 泊	15 日	8 名	12 名
男子ユニバ日本代表東西大学合同強化合宿 (11/2-11/6)	ヨーロッパ	4 泊	5 日	13 名	30 名
男子ユニバ日本代表 合宿 (2/3-2/11)	NTC	8 泊	9 日	7 名	20 名

C: U21/20 日本代表

2024年のU20アジア選手権で3位に入り出場権を獲得したU21世界選手権大会に向け、5月に選手選考、7月に大会直前合宿を行い、チームの強化を図る。U21世界選手権ではメダル獲得が目標。

2025年にはU20アジア選手権も開催予定(詳細未定)。他大会と日程が重なった場合には、チーム編成が課題となるが、世界選手権出場権獲得を目指す。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U20/U21 日本代表 合宿 (5/3-5/7)	国内	4 泊	5 日	7 名	20 名
男子 U20/U21 日本代表 合宿 (7/16-7/20)	国内	4 泊	5 日	7 名	14 名
男子 U21 世界選手権大会 (8/13-8/31[試合:8/18-8/31])※事前合宿あり	中国	18 泊	19 日	10 名	12 名
男子 U20 日本代表 合宿 (1/15-1/21)	NTC	6 泊	7 日	7 名	20 名

D: U19/U18 日本代表

2024 年の U18 アジア選手権で 4 位に入り出場権を獲得した U19 世界選手権大会に向け、5 月～6 月に選手選考、7 月に大会直前合宿を行い、チームの強化を図る。U19 世界選手権ではメダル獲得を目標とする。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U19 日本代表 合宿 (4/21-4/24)	愛知	3 泊	4 日	7 名	18 名
男子 U19 日本代表 合宿 (6/29-7/3)	大阪	4 泊	5 日	7 名	12 名
男子 U19 世界選手権大会 (試合:7/12-8/3[7/21-8/3]) ※事前合宿あり	ウズベキスタン	22 泊	23 日	7 名	12 名
男子 U18 日本代表 合宿 (11/30-12/4) ※2026 年大会に向けて	薩摩	4 泊	5 日	7 名	24 名
男子 U18 日本代表 合宿 (2/17-2/20)	NTC	3 泊	4 日	7 名	24 名
日中韓ジュニア交流競技議会合宿 (日程未定)	未定	4 泊	5 日	7 名	18 名
男子 U18 日本代表 合宿 (3/18-3/22)	NTC	4 泊	5 日	7 名	18 名

E: U17/U16 日本代表

U16 はアンダーカテゴリーの国際大会が初めてとなる選手で構成されるため、4～6 月は U16 アジア選手権に向けて選手の育成・強化を行う。2023 年アジア選手権では獲得できなかった U17 世界選手権の出場権獲得を目指す。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U16 日本代表 合宿 (4/20-4/23)	国内	3 泊	4 日	7 名	25 名
男子 U16 日本代表 合宿 (5/10-5/13)	国内	3 泊	4 日	7 名	20 名
男子 U16 日本代表 合宿 (8/20-8/23)	国内	3 泊	4 日	7 名	20 名
男子 U16 アジア選手権大会 (7/9-7/19[試合:7/12-19]) ※事前合宿あり	アジア	10 泊	11 日	8 名	12 名

(2) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化および国際派遣事業（女子）

A：日本代表（フル代表）

2025年度より2028ロサンゼルスオリンピックに向けた活動がスタートする。

2024-25 大同生命 SV. LEAGUE が5月第1週まで行われるため、一定の休息を挟み第3週より新監督・新スタッフによる新体制のもと日本代表活動を始動する。5月は国内での選手選考を含む強化合宿を行い、6～7月のバレーボールネーションズリーグ（VNL）に向けて若手有望選手を起用しながらチームの底上げを図り、世界と戦えるチームを作り上げていき VNL では2024年（銀）に続くメダル獲得を目指す。そして、現在（2024年8月30日付）のFIVB ランキング7位の順位を上げることを目標とする。

事業名(期間)	場所
バレーボールネーションズリーグ女子第1週(6/4-6/8)	カナダ
バレーボールネーションズリーグ女子第2週(6/18-6/22)	香港
バレーボールネーションズリーグ女子第3週(7/9-7/13)	日本（千葉県千葉市）
バレーボールネーションズリーグ女子ファイナルラウンド(7/23-7/27)	ポーランド（ウッチ）

8月は世界選手権に向けての強化合宿を行い VNL で出た課題の修正に取り組む。そして、世界選手権では前回2022年大会（5位）に続く決勝トーナメント進出を死守し、メダル獲得を目指す。

事業名(期間)	場所
女子世界選手権(8/22-9/7)	タイ

世界選手権チームとは別に日本代表 B チームを結成して8月に韓国遠征を行い、開催大会を通じて若手有望選手の国際経験を積ませ育成へとつなげていく。

事業名(期間)	場所
韓国遠征(8/8-8/19) 韓国開催大会参加	韓国

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子日本代表 合宿 (5/7-5/19)	NTC	12泊	13日	12名	34名
女子日本代表 合宿 (5/19-5/25)	国内	6泊	7日	12名	24名
女子日本代表 合宿 (5/25-5/30)	NTC	4泊	5日	12名	18名
女子日本代表 合宿 (6/10-6/16)	NTC	6泊	7日	12名	18名
女子日本代表 合宿 (6/23-7/7)	NTC	14泊	15日	12名	18名
女子日本代表 合宿 (7/14-7/19)	NTC	5泊	6日	12名	18名
女子日本代表 合宿 (7/19-7/28)	NTC	9泊	10日	12名	18名
※VNL 女子ファイナルラウンドに進出しなかった場合	NTC				

女子日本代表 合宿 (8/6-8/12)	国内	6泊	7日	12名	18名
女子日本代表 合宿 (8/12-8/19)	NTC	7泊	8日	12名	18名
女子日本代表(若手) 合宿 (8/1-8/8)	NTC	7泊	8日	8名	14名
女子日本代表(若手) 韓国遠征 (8/8-8/19 [試合 : 8/10-8/18])	韓国	11泊	12日	8名	14名

B: ユニバ日本代表 (大学卒業1年目と大学生を中心に構成される日本代表チーム)

7月にドイツで行われるワールドユニバーシティゲームズ(WUCG)に向けて選手強化を図る。WUCG直前に欧州での強化合宿を行い大会に向けて万全の準備を整え、WUCGではメダル獲得を目指す。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子ユニバ日本代表 合宿 (5/26-5/30)	国内	4泊	5日	8名	24名
女子ユニバ日本代表 合宿 (7/5-7/10)	国内	5泊	6日	8名	12名
女子ユニバ日本代表 欧州事前合宿 (7/10-7/14)	欧州予定	4泊	5日	8名	12名
女子WUG (7/14-7/29 [試合 : 7/16-7/24])	ドイツ	15泊	16日	8名	12名
女子ユニバ日本代表 合宿 (2/23-2/28) ※2027年大会に向けて	NTC	5泊	6日	8名	24名

C: U20/U21 日本代表

2024年のU20アジア選手権大会で2位に入り、出場権を獲得したU21世界選手権大会に向け、4~6月に選手選考、7月に大会直前合宿を行い、チームの強化を図りメダル獲得を目指す。

2025年にはU20アジア選手権大会も開催予定(詳細未定)。他競技大会と日程が重なった場合にはチーム編成が課題となるがメダル獲得を目指し強化を図る。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子U21日本代表 合宿 (4/21-4/25)	国内	4泊	5日	7名	24名
女子U21日本代表 合宿 (5/19-5/23)	国内	4泊	5日	7名	24名
女子U21日本代表 合宿 (6/9-6/13)	国内	4泊	5日	7名	20名
女子U21日本代表 直前合宿 (7/28-8/5)	国内	8泊	9日	7名	12名
女子U21世界選手権大会 (8/5-8/18 [試合 : 8/7-8/17])	インドネシア	13泊	14日	7名	12名
女子U20日本代表 合宿 (11/17-11/21) ※2026年大会に向けて	NTC	4泊	5日	7名	24名
女子U20日本代表 合宿 (2/9-2/13)	NTC	4泊	5日	7名	24名

女子 U20 日本代表 合宿 (3/9-3/13)	NTC	4泊	5日	7名	24名
---------------------------	-----	----	----	----	-----

D: U18/U19 日本代表

2024年のU18アジア選手権大会で2位に入り出場権を獲得したU19世界選手権大会に向け、4・5月に選手選考、6月に大会直前合宿を行いチームの強化を図りメダル獲得を目指す。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U19 日本代表 合宿 (4/21-4/25)	国内	4泊	5日	7名	24名
女子 U19 日本代表 合宿 (5/12-5/16)	国内	4泊	5日	7名	20名
女子 U19 日本代表 直前合宿 (6/21-6/26)	国内	5泊	6日	7名	12名
女子 U19 世界選手権大会 (6/28-7/14 [試合: 7/3-7/13])	クロアチア /セルビア	16泊	17日	7名	12名
女子 U18 日本代表 合宿 (11/17-11/21) ※2026年大会に向けて	NTC	4泊	5日	7名	24名
女子 U18 日本代表 合宿 (2/9-2/13)	NTC	4泊	5日	7名	24名
女子 U18 日本代表 合宿 (3/9-3/13)	NTC	4泊	5日	7名	24名

E: U16/U17 日本代表

U16はアンダーカテゴリーの国際大会が初めてとなる選手で構成されるため、4～6月はU16アジア選手権大会に向けて選手の育成・強化を行う。7月に大会直前合宿を行い、U16アジア選手権大会では2026年U17世界選手権大会の出場権獲得を目指す。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U16 日本代表 合宿 (4/14-4/18)	国内	4泊	5日	7名	24名
女子 U16 日本代表 合宿 (5/7-5/11)	国内	4泊	5日	7名	24名
女子 U16 日本代表 合宿 (6/2-6/6)	国内	4泊	5日	7名	20名
女子 U16 日本代表 直前合宿 (7/14-7/18)	国内	4泊	5日	7名	12名
女子 U16 アジア選手権大会 (7/17-7/28 [試合: 7/20-7/27])	ヨルダン	11泊	12日	7名	12名
女子 U17 日本代表 合宿 (11/10-11/14) ※2026年大会に向けて	NTC	4泊	5日	7名	24名
女子 U17 日本代表 合宿 (3/16-3/20)	NTC	4泊	5日	7名	24名

2-1-2. 競技力向上事業及び競技力向上に係る国際大会派遣事業 (ビーチバレーボール)

(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化および国際派遣事業 (男子/女子)

A: 男子・女子日本代表チーム (フル代表)

ビーチバレーボール男女日本代表監督に就任したスティーブ・アンダーソン監督の下、2028年ロサンゼルスオリンピックに向けた4年計画の強化戦略プラン及び2032年ブリスベンオリンピックに向けた8年計画の強化プランを新たに策定し強化を推進する。

2025年度は新たに導入する強化システムの基盤を構築する。日本代表選手に対しては、国際大会及び事前合宿派遣サポートに加え、スポーツ医・科学を用いたサポートも行う計画をしており、更に11月にオーストラリアで開催されるビーチバレーボール世界選手権大会の出場権を男女で獲得することを目標に掲げ、戦略的な大会派遣と準備を行う。

事業名(期間)	場所
2025 ビーチバレーボール世界選手権大会 (11/14-23)	オーストラリア
バレーボールワールドビーチプロツアー (通年)	世界各地
2024 アジアビーチバレーボール選手権大会 (未定)	未定
AVC ビーチツアーオープン (通年)	アジア各地

B: U21/ユニバ日本代表

2025年度はU21世代の国際大会と、2013年にカザンで開催された第27回ユニバーシアード競技大会以来15年振りに正式競技となるユニバーシティゲームズが開催される。2023年度に立ち上げたアンダーエイジカテゴリー強化事業を軸として、各カテゴリー大会に向けてビーチバレーボール練習会の開催や強化合宿を開催して継続的な選手育成・強化を実施する。

事業名(期間)	場所
2025 ビーチバレーボール U21 世界選手権大会 (9/16-21)	ジョージア
2025 ビーチバレーボール U21 アジア選手権大会 (未定)	未定
FISU ワールドユニバーシティゲームズ (7/21-25・ラインルール)	ドイツ

C: 高校選抜 (発掘育成事業)

公益財団法人全国高等学校体育連盟及び一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟との連携を図り、ビーチバレーボール高校選抜合宿を計画する。

2-1-3. 国際大会開催事業

(1) バレーボールネーションズリーグ 2025 女子大会

開催期間：7月9日(水)～13日(日)

開催都市：千葉県千葉市(千葉ポートアリーナ)

出場チーム：ブラジル、フランス、ポーランド、ブルガリア、日本、韓国

(2) バレーボールネーションズリーグ 2025 男子大会

開催期間：7月16日(水)～20日(日)

開催都市：千葉県千葉市(千葉ポートアリーナ)

- 出場チーム：日本、アルゼンチン、アメリカ、ドイツ、ブラジル、トルコ
- (3) 2025 バレーボール男子世界選手権壮行試合 日本対ブルガリア
開催期間：9月2日(火)～3日(水)
開催都市：東京都
- (4) 2025 バレーボール男子世界選手権壮行試合 日本対イタリア
開催期間：9月6日(土)～7日(日)
開催都市：千葉県

2-1-4. 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

- (1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案とサポート
・男女日本代表選手バイオメカニクス測定【2025年9月～10月予定】
- (2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握
- (3) トレーナーおよびアナリストの育成と教育及び日本代表チームへの帯同と日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用
・アナリスト育成セミナー【2025年12月予定】
・アナリスト育成アカデミー【2026年1月～3月予定】
・アンダーエイジカテゴリー日本代表選手体力測定【2025年10月～2026年3月予定】
- (4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持と怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤の手配
・男女日本代表選手へのメディカルチェック【2025年4月予定】
- (5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上を図る
- (6) 感染症専門ドクターの示唆、感染症対策の実施と安心・安全なトレーニング環境を創る
・医師やトレーナーによる帯同報告会【2025年12月予定】

2-1-5. 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

- (1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および各ブロックからの推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、合宿に参加した有望選手のリストを小学生・中学生から高校生までをデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有する。また、年1回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、海外で外国人チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行うとともに、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、一貫した選手の育成を実践していく。

※2025年度、高校選抜チームはタイ遠征予定。中学選抜チームはイタリア遠征予定。

A：小学生エリートアカデミーオーディション合宿

日時：2025年8月14日(木)～16日(土)2泊3日(予定)

- 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター(予定)
人数：小学5・6年 男子30名、女子30名 *スタッフ：17名
- B：小学生エリートアカデミー年末合宿
日時：2025年12月25日(木)～12月28日(日)3泊4日(予定)
場所：和歌山県田辺市 田辺スポーツパーク
人数：小学5・6年 男子15名、女子15名
 中学1・2年 男子15名、女子15名 *スタッフ：17名
- C：全国中学バレーボール選抜強化(一次)合宿
日時：2025年10月9日(木)～12日(日)3泊4日(予定)
場所：岩手県紫波町「オガールアリーナ」「紫波町総合体育館」
人数：中学2・3年 男子30名、女子30名 *スタッフ：15名
- D：全国中学バレーボール選抜強化(二次)合宿
日時：2026年1月8日(木)～11日(日)3泊4日(予定)
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
人数：中学2・3年 男子12名、女子12名 *スタッフ：9名
- E：中学選抜海外遠征
日時：2026年2月22日(日)～3月3日(火)9泊10日(予定)
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター・イタリア(ポルデノーネ)
人数：中学2・3年 男子12名、女子12名 *スタッフ：12名
- F：全国中学長身者合宿
日時：2026年2月5日(木)～8日(日)3泊4日(予定)
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター他
人数：中学1・2年 男子40名、女子40名 *スタッフ：42名
- G：全国高校選抜候補一次合宿(全国9ブロック高校生長身者合宿)
日時：2025年8月15日(金)～9月8日(月)*各ブロック2泊3日
場所：全国9ブロック施設にて開催
人数：各ブロック高校1・2年 男子16名、女子16名 *スタッフ：各ブロック10～15名
- H：高校選抜候補第二次合宿・全日本ジュニアオールスタードリームマッチ
日時：2026年2月21日(金)～23日(日)2泊3日(予定)
場所：エスフォルタアリーナ八王子
人数：高校1・2年 男子48名、女子48名 *スタッフ：32名
 中学3年 男子4名、女子4名
- I：高校選抜候補第三次合宿
日時：2026年3月19日(木)～23日(月) 4泊5日(予定)
場所：墨田区総合体育館
人数：高校1・2年 男子24名、女子24名 *スタッフ：16名

2-1-6. 競技・練習環境の整備、情報発信

(1) 味の素ナショナルトレーニングセンター バレーボール専用コート設備

- ① 備品のメンテナンス
- ② 備品の新規購入

(2) 川崎マリエンビーチバレーボールコート設備

- ① 強化戦略プランでのマネージメントの実行
- ② 情報戦略分野での継続支援
- ③ スポーツ医・科学情報分野での人的リソース配備
- ④ 各種研修会による教育サポート

(3) ビーチバレーボールアスナビ

ビーチバレーボールの普及を目的に、ビーチバレーボール版アスナビを新規に立ち上げる。卒業後、競技継続を希望する学生に対して就職支援を行い、卒業後も競技を継続できる環境構築を目指す。

2-2. 競技普及「競技に携わる多くの仲間とのつながり拡大」

2-2-1. 競技人口拡大のための重点施策

(1) 競技会開催事業

「JAPAN バレーボール宣言」の理念とビジョンに基づき、“誰もが・いつでも・どこでも”バレーボールを身近に心から楽しめる環境を提供し、バレーボールに関わるすべての人々を支え、バレーボールが生涯にわたって生活の一部となり、より豊かなスポーツ文化を育むことを目指して各種国内競技会を開催する。

A：6人制

大会名	日程	開催地
令和7年度天皇杯・皇后杯 JVA 全日本バレーボール選手権大会		
都道府県ラウンド	4～7月	全国各地
ブロックラウンド	9月	全国各地
ファイナルラウンド	12/11～14	東京都
	12/20～21	東京都
JVA 第16回全国バレーボール総合リーグ優勝大会		
ブロックラウンド	4～12月	全国各地
セミファイナルラウンド	2026年1月～3月	未定
ファイナル	2026年3月	未定
黒鷲旗 JVA 第73回全日本バレーボール選抜大会	5/3～6	大阪府（大阪市）
全国高校総体 男子	7/28～8/1	島根県（松江市）
第52回全国高等学校定時制・通信制大会	8/5～9	神奈川県（平塚市）
全国高校総体 女子	85～9	岡山県（岡山市）

JVA 第 45 回全日本バレーボール小学生大会		
男子	8/4~7	東京都、千葉県、神奈川県
女子		
混合		
44th ジャパンクラブカップ JVA 第 44 回全日本バレーボールクラブ選手権大会 女子	8/8~11	福岡県（福岡市）
44th ジャパンクラブカップ JVA 第 44 回全日本バレーボールクラブ選手権大会 男子	8/8~11	埼玉県（熊谷市、本庄市）
第 55 回全日本中学校選手権大会	8/17~20	長崎県（大村市、諫早市）
第 60 回全国高等専門学校体育大会	9/5~7	鹿児島県（薩摩川内市）
JVA 第 28 回全国バレーボールヤングクラブ大会 女子	9/20~21	大阪府、和歌山県
JVA 第 28 回全国バレーボールヤングクラブ大会 男子	9/20~21	大阪府、和歌山県
第 79 回国民スポーツ大会	9/28~10/1	滋賀県（草津市、守山市、近江八幡市）
ミキプルーンスーパーカレッジバレー2024 秩父宮賜杯 第 78 回全日本バレーボール大学選手権大会 男子	12/1~7	東京都、埼玉県
ミキプルーンスーパーカレッジバレー2024 秩父宮妃賜杯 第 72 回全日本バレーボール大学選手権大会 女子	12/1~7	東京都、埼玉県
第 39 回全国都道府県対抗中学大会	12/25~28	大阪市
春の高校バレー JVA 第 78 回全日本バレーボール高等学校選手権大会	2026/1/5~7 1/10~11	東京都（渋谷区）

B：9人制

大会名	日程	開催地
JVA 第 11 回全日本バレーボールトップリーグ9人制		
女子ファーストディビジョン レギュラーラウンド	5/31~6/29	岐阜県、大阪府、広島県、宮崎県
女子ファーストディビジョン ファイナルラウンド	7/19~8/3	兵庫県、長野県
女子ファーストディビジョン 入替戦	12/13	岐阜県（大垣市）
男子ファーストディビジョン レギュラーラウンド大阪	9/13~14	大阪府（大阪市）
男子ファーストディビジョン レギュラーラウンド広島	10/11~13	広島県（福山市）
男子ファーストディビジョン レギュラーラウンド宮城	12/12~13	宮城県（柴田郡柴田町）
男子ファーストディビジョン ファイナルラウンド宮城	12/14	宮城県（柴田郡柴田町）
男子ファーストディビジョン入替戦	12/14	宮城県（柴田郡柴田町）
JVA 第 77 回全日本バレーボール実業団選手権大会9人制 女子	7/24~26	福島県（福島市、二本松市）
JVA 第 78 回全日本バレーボール実業団選手権大会9人制 男子	7/24~27	福島県（福島市、二本松市）
44th ジャパンクラブカップ JVA 第 44 回全日本バレーボールクラブ選手権大会9人制 男子	7/31~3	京都府（向日市、京都市）

日本スポーツマスターズ 2025 愛媛大会	9/20～23	愛媛県(松山市、砥部町、伊予市、西条市、四国中央市)
JVA 第 24 回全国バレーボール社会人優勝大会 9 人制東ブロック	10/23～26	北海道(帯広市、芽室町)
JVA 第 24 回全国バレーボール社会人優勝大会 9 人制西ブロック	10/3～6	兵庫県(加古川市)
JVA 第 95 回全日本バレーボール選手権大会 9 人制 男子	11/20～23	大阪府(大阪市)
JVA 第 94 回全日本バレーボール選手権大会 9 人制 女子	11/21～24	徳島県(鳴門市、板野郡)

C：ソフトバレーボール

大会名	日程	開催地
JVA 第 33 回全国ソフトバレーボールフェスティバル シルバー山口	10/3～5	山口県(山口市)
JVA 第 27 回全国ソフトバレーボールフェスティバル レディース北海道	10/17～19	北海道(函館市)
JVA 第 14 回全国ソフトバレーボールフェスティバル スポレク京都	11/21～23	京都府(京都市)
JVA 第 10 回全国ソフトバレーボール フェスティバル	中止	

D：8人制

大会名	日程	開催地
ヴィンテージ 8' s JVA 第 16 回全国バレーボール交流大会 8 人制	10/31～11/2	静岡県(御殿場市)

E：ビーチバレーボール

ジャパンビーチバレーボールツアー2025

2025 年度も各分野の専門委員を含めたツアー実行委員会を設置し、新規で開催予定の北海道大会(エスコンフィールド HOKKAIDO 会場)を実施、都市型大会の開催に関しては、昨年に引き続きグランドスラム大会と称して、その他オープン大会との差別化を図り以下の通り大会を開催する。ツアー各大会を活用し、他競技とのコラボレーション大会開催、環境問題や社会貢献活動の取り組みにも更に力を入れる。

大会名	開催期間	開催場所
平塚大会	4/27～29	神奈川県平塚市・湘南ベルマーレひらつかビーチパーク
大阪大会	5/9～11	グランフロント大阪うめきた広場
都城大会	6/6～8	宮崎県都城市・霧島ファクトリーガーデン
立川立飛	6 月 or 7 月	東京都立川市 TACHIHI BEACH(エキシビジョンマッチ)
横浜大会	7/4～6	神奈川県横浜市・横浜赤レンガ倉庫
青森大会	8/30～31	青森県青森市・青森駅前ビーチ

北海道大会	9/6～8	北海道北広島市・エスコンフィールド
名古屋大会	9/19～21	愛知県名古屋市・名城公園 TONARINO
松山大会	10/25～26	愛媛県松山市・松山城城山公園堀之内

第79回国民スポーツ大会バレーボール競技会・ビーチバレーボール種目(正式競技)

- ・日 程：令和7年9月6日～9日
- ・開催場所：滋賀県長浜市

日本選手権

大会名称	開催日	開催都市
アクティオ杯ビーチバレーボールジャパンカレッジ 2025 JVA 第37回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会	8/5～7	神奈川県 川崎市
ビーチバレーボールジュニア JVA 第24回全日本ビーチバレーボール高等学校選手権大会 男子	8/7～10	大阪府 阪南市
マドンナカップ in 伊予市 JVA 第29回全日本ビーチバレーボール高等学校選手権大会 女子	8/7～10	愛媛県 伊予市
ビーチバレージャパン JVA 第39回全日本ビーチバレーボール選手権大会 男子	8/11～13	神奈川県 藤沢市
湘南藤沢カップ JVA 第16回全日本ビーチバレーボールU15選手権大会 4人制	8/16～17	神奈川県 藤沢市
ビーチバレージャパンレディース JVA 第36回全日本ビーチバレーボール選手権大会 女子	8/22～24	大阪府 泉南郡岬町
EKINAN マンモスカップ JVA 第5回全日本ビーチバレーボールU15選手権大会	8/23～24	愛知県 碧南市

その他主要大会

大会名称	開催期間	開催場所
ビーチバレーボールNEXT2025 JVA 第7回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会	7/24～27	兵庫県 明石市
川崎市長杯 JVA 第17回ビーチバレーボール大会	10/11～12	神奈川県川崎市

(2) 指導者養成事業

日本バレーボール協会が養成する「指導者」は、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる指導者の養成を目的とする。

A：JSP0 公認スポーツ指導者資格・バレーボールコーチ養成講習会

■JSP0 公認スポーツ指導者（競技別指導者資格）専門科目認定講習会

- ・スタートコーチ：都道府県 JSP0 と都道府県協会で実施
- ・コーチ 1：都道府県 PSP0 と都道府県協会で実施
- ・コーチ 2：都道府県 JSP0 と都道府県協会で実施
- ・コーチ 3：JVA 指導普及委員会で実施
- ・コーチ 4：JVA 指導普及委員会で実施

B：JVA 公認指導者養成講習会

- ・準指導員（コーチ 1）：全国学生対象コーチ 1 養成講習会
- ・準指導員（コーチ 1）：クラブ連盟対象コーチ 1 養成講習会
- ・準指導員（コーチ 1）：全国小学生指導者第一次講習会・第二次講習会
(第一次+第二次講習会終了で準指導員)
- ・ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会
- ・ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会
- ・ソフトバレーボール・マスターリーダー更新研修会

C：JVA 公認講師認定講習会

■JSP0 公認スポーツ指導者・JVA 公認指導者の養成講習会を開催するための講師育成

D：指導者資格更新研修会

■JVA 独自指導者研修会（指導スキルアップ研修・資格更新研修）

- ・都道府県別指導者研修会
- ・公認指導者研修会（公認講師、コーチ 3、コーチ 4 対象）
- ・全国中学生バレーボール指導者研修会
- ・日本実業団バレーボール連盟全国指導者研修会
- ・クラブ連盟対象指導者研修会
- ・ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会
- ・ビーチバレーボール指導者研修会

(3) 審判員養成事業

国際大会における国際審判員の派遣および国内競技会の審判員派遣とともに、円滑な競技会運営のために、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判技術向上と審判員の養成・育成を目的に、主な事業を下記により開催する。

A：審判技術強化事業

■国際ナショナルレフェリー技術強化事業

事業名	期日	開催地等
-----	----	------

海外遠征派遣事業	8月	高校選抜遠征に帯同
----------	----	-----------

■ナショナルレフェリー技術強化事業

6人制

事業名	期日	開催地等
1) トップレフェリー技術強化事業		
関東・東海・関西大学男子1部リーグ (春季・秋季)	4月～5月 9月～10月	
S1レフェリー認定講習会	未定	
S1・S2レフェリー技術強化事業	8月	大阪 近畿大学
S3レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
2) Eスクール(語学研修)	(実技)6月・8月・12月 (講義)8月・3月	九州・東海・近畿
3) 6人制A級審判員技術強化事業	11/26(予定) 12/2～4	Web 東京 スーパーカレッジ 男女大学選手権大会
4) A級審判員資格取得審査講習会	-	令和7年度は実施しない
5) A級候補審判員講習会(ACキャンプ)	8/9～12	大阪 近畿大学
6) B級レフェリーキャンプ	8/12～14	大阪 近畿大学

9人制

事業名	期日	開催地等
1) トップレフェリー技術強化事業		
N1レフェリー認定事業	5月	大阪
N2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
2) 9人制A級審判員技術強化事業	未定	3ブロック
3) 9人制レフェリー育成事業	未定	大阪
4) 9人制特別A級審判員資格取得審査講習会	-	令和7年度は実施しない
5) 9人制特別A級候補審判員講習会	-	令和7年度は実施しない

ビーチバレーボール

事業名	期日	開催地等
1) トップレフェリー技術強化事業		
B1レフェリー認定事業	4/13～14	静岡県浜松市
B2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
2) Eスクール(語学研修)	6人制に準ずる	

3) ビーチバレーボール A 級審判員技術強化事業	8/6~8	ビーチバレー・ジャパ ン・カレッジ 2024
4) ビーチバレーボールレフェリー育成事業	7/19~21	全日本ビーチバレーボ ール U-23 男女選抜優勝大会

B：審判研修事業

事業名	期日	開催地等
1) 全国講習会		
全国 6 人制審判講習会	令和 7 年 3/20	東京（慶應義塾中等部）
全国 9 人制審判講習会	令和 7 年 3/23	大阪（パナソニックブルーベルズ）
全国ビーチバレーボール審判講習会	令和 7 年 3/22	神奈川（川崎マリエン）
全国ラインジャッジクリニック	4/30~5/2	大阪 黒鷲旗 全日本男女選抜大会
2) ブロック講習会		
ブロック A 級審判員講習会 （6 人制・9 人制・ビーチ）	-	各ブロックへの講師派遣
競技会事前講習会	-	各開催地
3) レフェリーインストラクター講習会	令和 7 年 2/24	合同部会時

(4) 競技者拡大事業

近年の急激な競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、すべてのカテゴリーにおいて減少している。競技人口を増やすことは喫緊の課題であるため、競技者拡大に向けた事業の検証・整理を行い、現行の事業の継続、リニューアルも含めた計画（中期・長期含む）を策定する。また、競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、小学生・中学生におけるバレーボールプログラムの充実・拡大を図るため今年度は以下の事業を実施する。

A：V リーグ選手と一緒にバレーボール教室

小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、V リーグ選手（含 OB・OG）が参加してバレーボール教室を全国 4 会場で開催。

- ・日時：6 月～10 月までの各会場 1 日
- ・場所：全国の 4 会場で開催(予定)
- ・人数：各会場バレーボール経験者（約 50 名）、未経験者（約 30 名）指導スタッフ：4 名

B：中学校ビギナー選手バレーボール大会推進

中学 1 年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの促進とともに、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会(全国)を開催。

- ・日時：10 月～2 月までの各会場 1 日
- ・場所：全国 9 ブロック 13 か所で開催(予定)

- ・人数：中学1・2年（1会場20～30校参加予定）

C：全国小中一貫バレーボール教室

小・中学生合同のバレーボール教室を実施する。一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的として、全国2会場（6月～10月）で開催。

- ・日時：6月～10月までの各会場1日
- ・場所：全国の2会場で開催（予定）
- ・人数：小学5・6年（30～50名）、中学1～2年（20～30名）

D：幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践

ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業として、全国9ブロックで年1回（6月～2月）展開。

- ・日時：6月～2月までの各会場1日
- ・場所：全国9ブロックで開催（予定）
- ・人数：幼稚園・保育園児（1会場30名～40名）

E：アンダー10大会促進

小学4年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリでのバレーボール継続を促進。全国25都道府県で年1回（6月～2月）開催。

（5）医事関連事業

- ・競技の高潔性維持とアンチ・ドーピングの遵守

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）とのさらなる連携を図り、ドーピング検査の実施や教育・啓発活動を推進する。特に、日本代表選手（アンダーカテゴリを含む）やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を中心とした教育活動を行い、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図る。

2-3. マーケティング「ファンや企業の皆様へ向けた新たな価値の発掘・提供」

2-3-1. 新たな価値を創造するための重点施策

（1）代表ユニフォームや大会看板以外の商材開発

- ・日本代表肖像活用の積極的な推進
- ・ビーチバレーボールを含めた国内大会の活性化

（2）新しい競技イメージの構築

- ・SVリーグと連動した日本バレーボール全体を包括するパートナー事業の開発

（3）マーケティング機会の創出

- ・国際親善試合などの日本代表イベントの積極的な実施と活用

(4) ファンマーケティングの拡大

- ・チケットやグッズ購入など同一 ID によるファンクラブ体験の質の向上
- ・ホスピタリティ付観戦やイベントなど新たな体験の開発

2-4. 社会貢献「豊かな社会の実現に向けた貢献活動」

2-4-1. 豊かな社会の実現に貢献するための重点事業

(1) SDGs 関連事業（国連グローバル・コンパクト関連事業）

(2) アジア貢献、国際交流事業

- ・アジア圏代表チームの合宿誘致等の交流事業（地元学生の練習招待や開催地の方との交流）

(3) 災害復興支援事業

- ・主催大会での募金活動（被災地支援に向けた活動）
- ・バレーボール教室等を被災地で開催する
- ・主催大会の積極的被災地開催

(4) 環境保護活動

- ・脱炭素化（各事業における炭素排出量の削減）
- ・清掃活動 ※協業候補（一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブ）

<https://www.spogomi.or.jp/>

2-5. 組織運営「組織改革による、誠実で信頼される組織運営と全国ネットワークの連携強化」

2-5-1. 成長の推進力となる組織運営の実現に向けた重点事業

(1) ガバナンス関連事業

- ・社会規範・要請（関連団体含む規定・制度・運営のチェック）
- ・スポーツ団体ガバナンスコード（適合性の改善、コードをきっかけとした体制改善）
- ・ステークホルダーへの説明責任
- ・危機管理（リスク管理）適切なリスク管理を行い、事業を健全かつ効率的、効果的に推進する。
- ・コンプライアンスの観点からより高いレベルの倫理観に従って行動し、誠実かつ公平・公正な行動の実践
- ・健全な財政体質の構築（加盟団体含む財政のチェック体制の構築）
- ・情報保護、管理体制の見直し（セキュリティ強化、責任体制の明確化、研修の実施による意識向上）

(2) 人財開発関連事業

- ・企画/推進人財の強化（要件に基づく人財開発）
- ・生産性向上（業務水準を維持する）
- ・メンター制度の導入と定着（人員定着化を見据えた活動）

(3) マネージメント関連事業

- ・収支均衡（定常事業での全体収支均衡の実現） or 財務体質改善（赤字体質の脱却）

- ・計画的、戦略的な投資（中長期発展を見据えた戦略投資の実行）
- ・加盟団体支援（自立的な運営のサポート、地域共生の実現）
- ・業務のスリム化とシステム化（現状の業務に対してPDCAサイクルを回し、システム化による負担とヒューマンエラーの削減）
- ・広報活動推進（ブランド力向上に向けた適切なデジタルを中心としたコンテンツの分析や活動の実施）